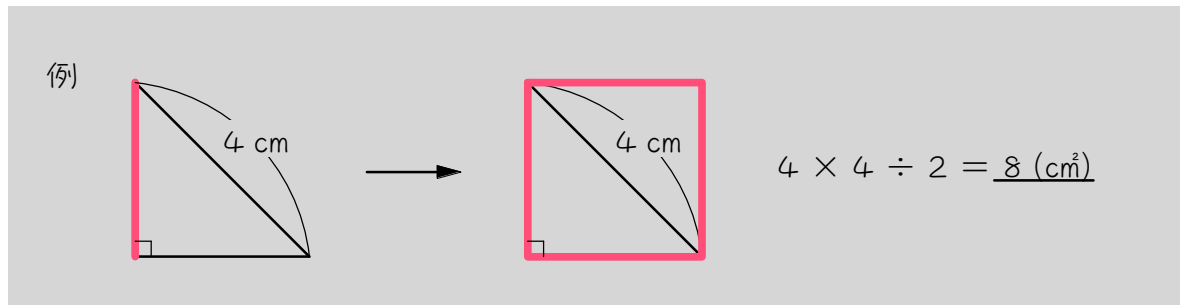


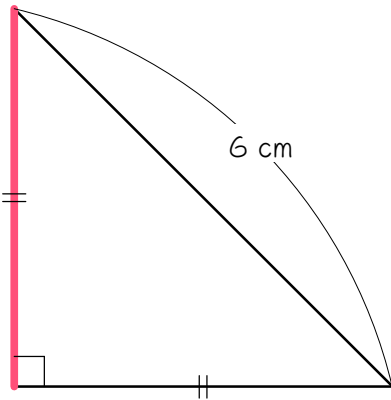
## ステップ1 正方形を作図する

1

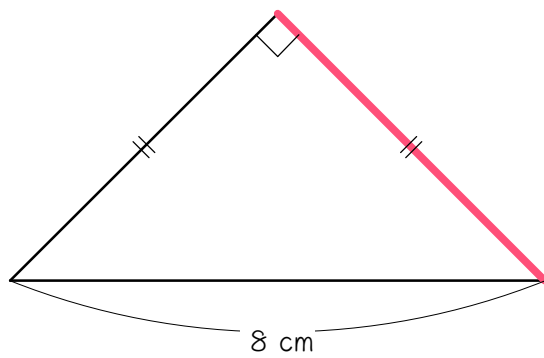
例にならって、赤い線を1辺とする正方形を、定規を使って正確に作図し、その面積を求めなさい。



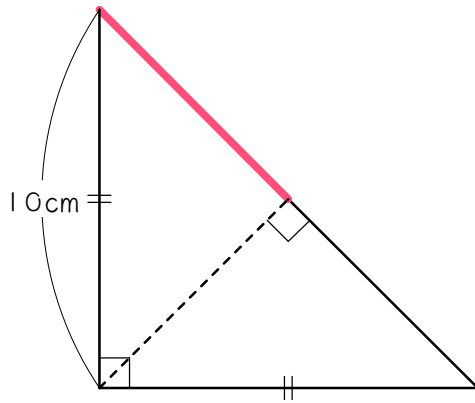
(1)



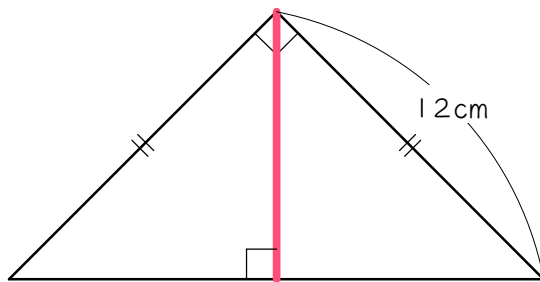
(2)



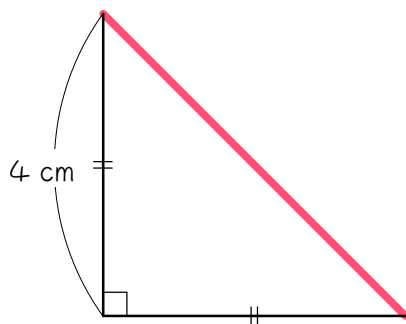
(3)



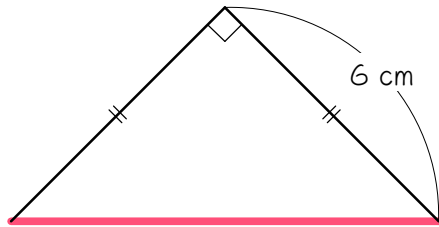
(4)



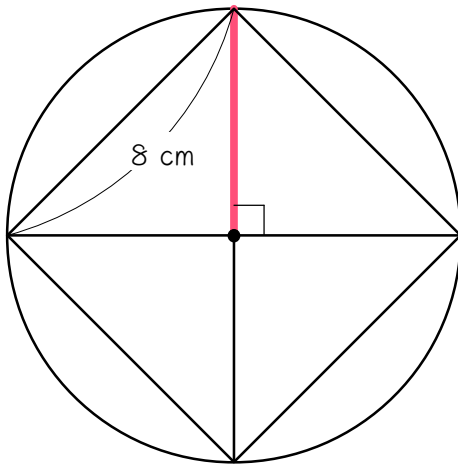
(5)



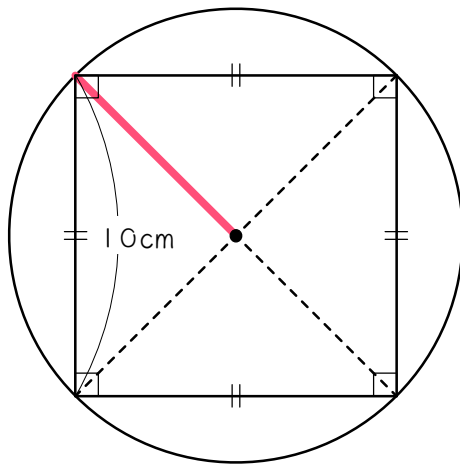
(6)



(7)



(8)

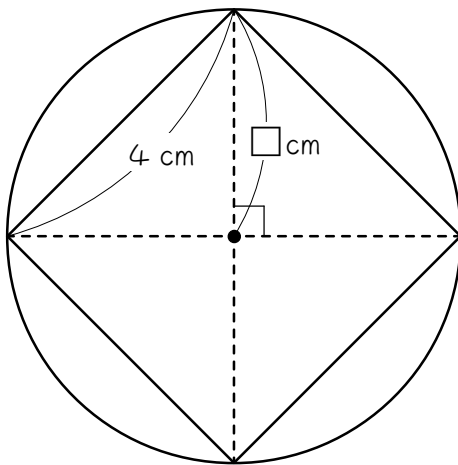


## ステップ2 半径×半径を求める

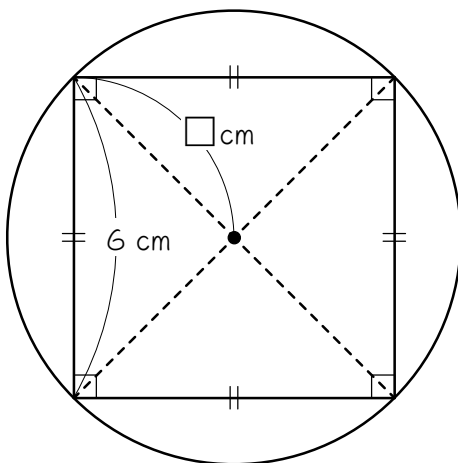
2

次の(1)~(5)において、□の値は中学生にならないと求められませんが、□×□の値なら求めることができます。□×□の値を求めなさい（単位不要）。□を1辺とする正方形を作図して考えなさい。

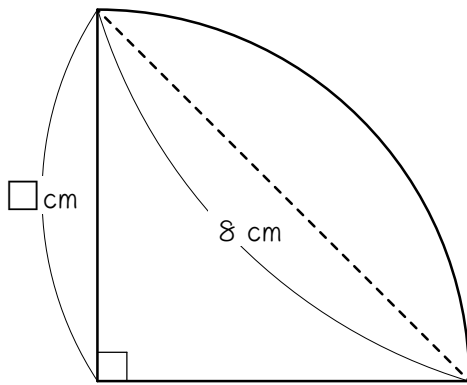
(1)



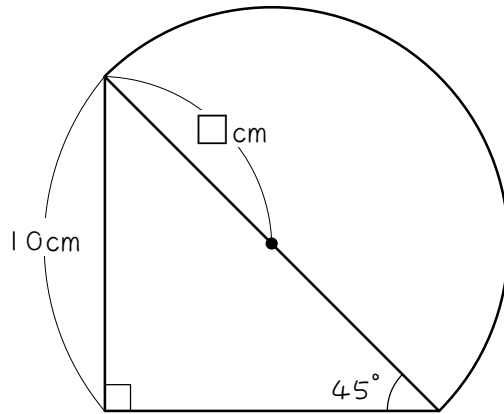
(2)



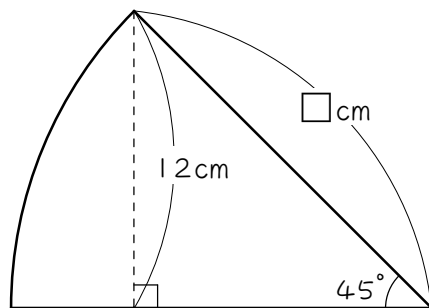
(3)



(4)



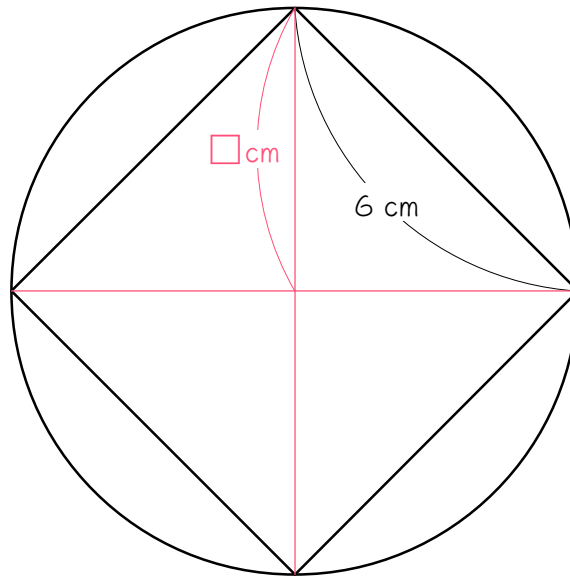
(5)



## ステップ3 練習問題

3

図のように、円の中に1辺の長さが6 cmの正方形がちょうど入っています。このとき、次の問いに答えなさい。ただし円周率は3.14とします。



(1) 図のように、円の半径を□cmとすると、円の面積は、

$$\underline{\square} \times \underline{\square} \times 3.14$$

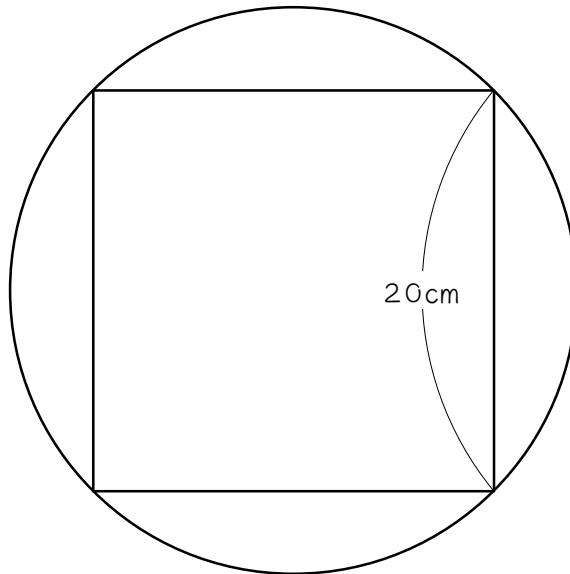
と表せます。このとき、□×□の値を求めなさい（単位は不要）。

□を1辺とする正方形を作図して考えなさい。

(2) 円の面積を求めなさい。

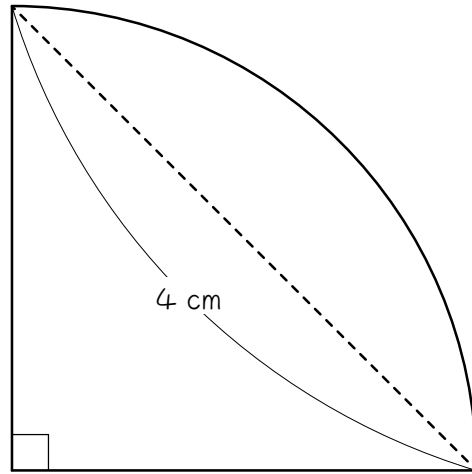
4

図のように、円の中に1辺の長さが20 cmの正方形がちょうど入っています。円の面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。ただし円周率は3.14とします。



5

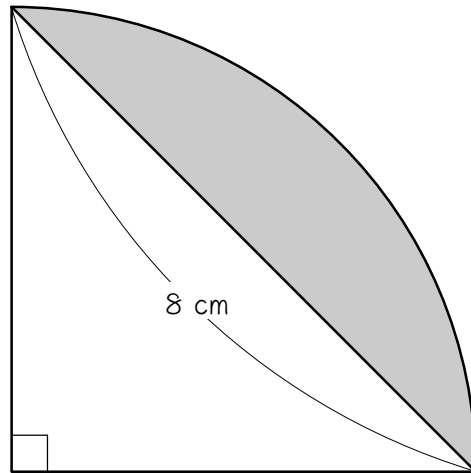
次のおうぎ形の面積を求めなさい。ただし円周率は3.14とします。





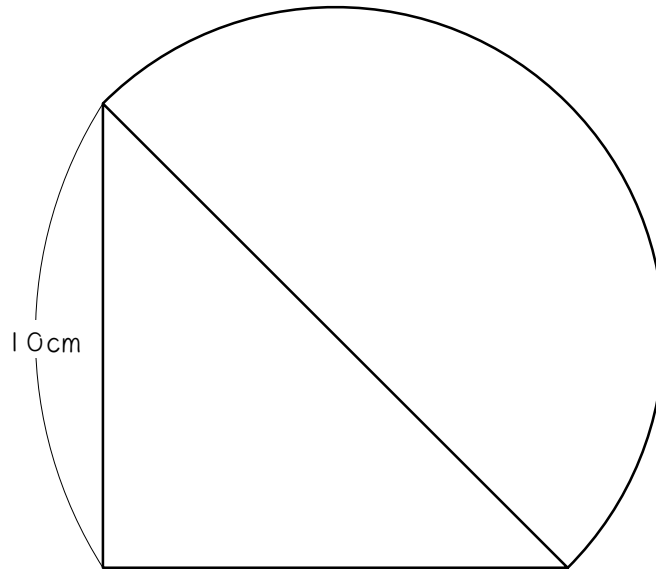
6

次の図は、おうぎ形と直角二等辺三角形を組み合わせたものです。色のついた部分の面積を求めなさい。ただし円周率は3.14とします。



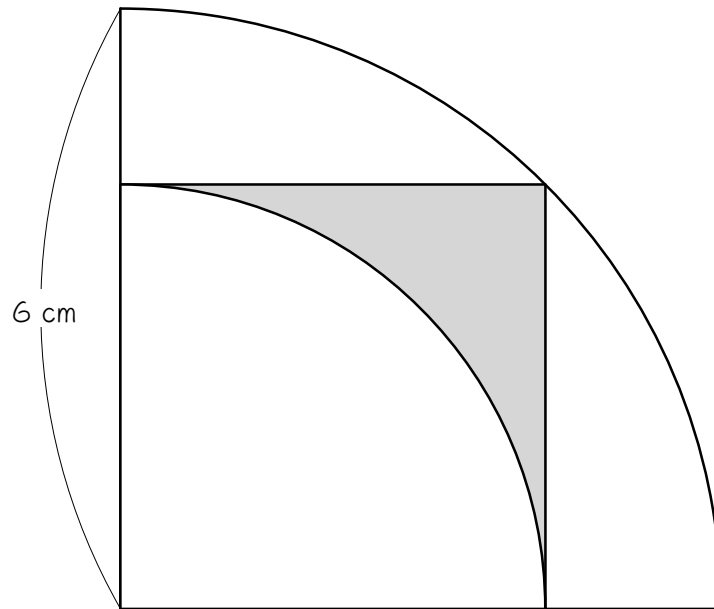
7

次の図は、直角二等辺三角形と半円を組み合わせたものです。この図形全体の面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。ただし円周率は3.14とします。



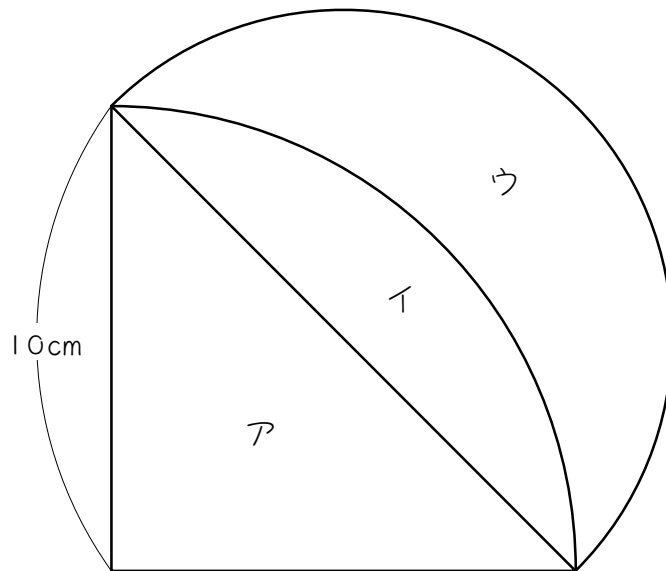
8

次の図は、正方形1個とおうぎ形を2個、組み合わせたものです。色のついた部分の面積を求めなさい。ただし円周率は3.14とします。



9

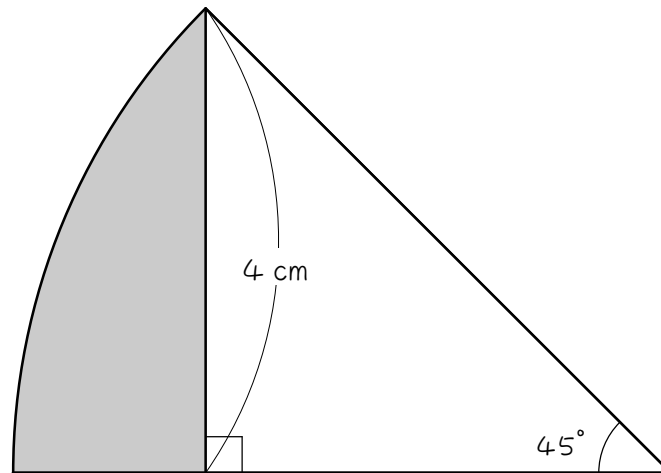
次の図は、直角二等辺三角形と中心角が90度のおうぎ形と半円を組み合わせたものです。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、円周率を3.14とします。



- (1) アの面積を求めなさい。
- (2) イの面積を求めなさい。
- (3) ウの面積を求めなさい。

10

図のような中心角が45度のおうぎ形があります。色のついた部分の面積を求めなさい。ただし円周率は3.14とします。

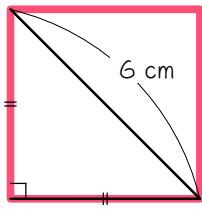


## ■ 解答 ■

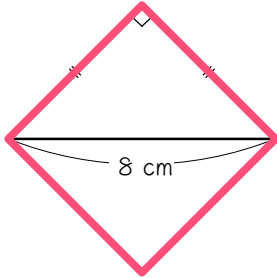
- 1 (1)  $18 \text{ cm}^2$  (2)  $32 \text{ cm}^2$  (3)  $50 \text{ cm}^2$   
(4)  $72 \text{ cm}^2$  (5)  $32 \text{ cm}^2$  (6)  $72 \text{ cm}^2$   
(7)  $32 \text{ cm}^2$  (8)  $50 \text{ cm}^2$
- 2 (1) 8 (2) 18 (3) 32  
(4) 50 (5) 288
- 3 (1) 18 (2)  $56.52 \text{ cm}^2$
- 4  $628 \text{ cm}^2$
- 5  $6.28 \text{ cm}^2$
- 6  $9.12 \text{ cm}^2$
- 7  $128.5 \text{ cm}^2$
- 8  $3.87 \text{ cm}^2$
- 9 (1)  $50 \text{ cm}^2$  (2)  $28.5 \text{ cm}^2$  (3)  $50 \text{ cm}^2$
- 10  $4.56 \text{ cm}^2$

■ 解説 ■

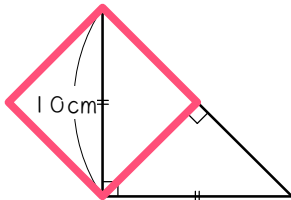
1 (1)  $6 \times 6 \div 2 = \underline{18(\text{cm}^2)}$



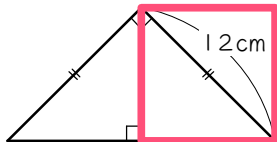
(2)  $8 \times 8 \div 2 = \underline{32(\text{cm}^2)}$



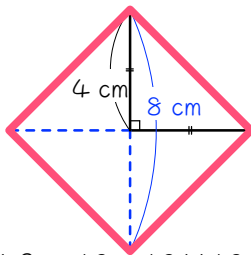
(3)  $10 \times 10 \div 2 = \underline{50(\text{cm}^2)}$



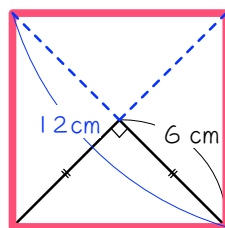
(4)  $12 \times 12 \div 2 = \underline{72(\text{cm}^2)}$



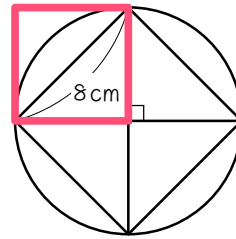
(5)  $4 \times 2 = 8$      $8 \times 8 \div 2 = \underline{32(\text{cm}^2)}$



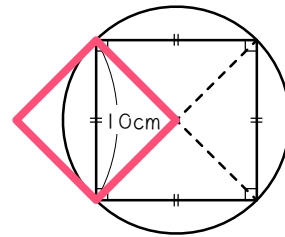
(6)  $6 \times 2 = 12$      $12 \times 12 \div 2 = \underline{72(\text{cm}^2)}$



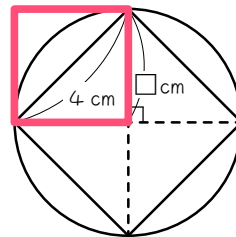
(7)  $8 \times 8 \div 2 = \underline{32(\text{cm}^2)}$



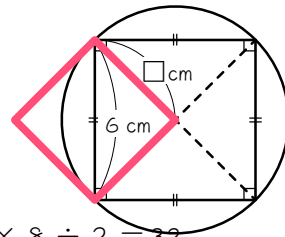
(8)  $10 \times 10 \div 2 = \underline{50(\text{cm}^2)}$



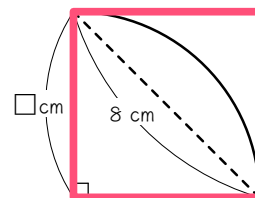
2 (1)  $4 \times 4 \div 2 = \underline{8}$



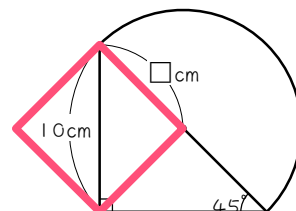
(2)  $6 \times 6 \div 2 = \underline{18}$



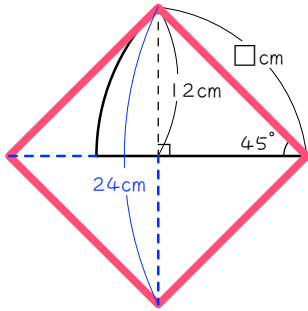
(3)  $8 \times 8 \div 2 = \underline{32}$



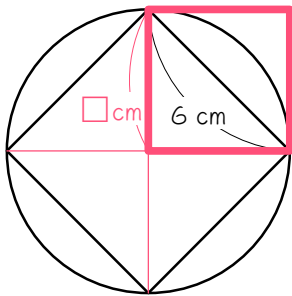
(4)  $10 \times 10 \div 2 = \underline{50}$



(5)  $24 \times 24 \div 2 = \underline{288}$



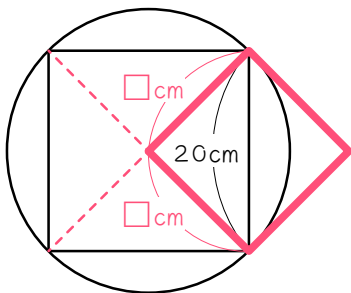
3 (1)  $6 \times 6 \div 2 = \underline{18}$



(2)  $\square \times \square \times 3.14 = 18 \times 3.14$   
 $= \underline{56.52(\text{cm}^2)}$

□は求められませんが、  
 ここがまるまる18になる  
 わけです。

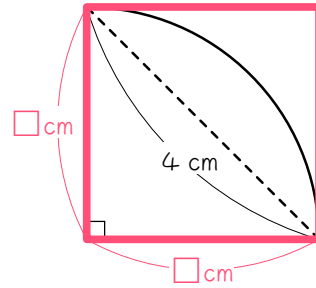
4



円の半径を□cmとすると、  
 $\square \times \square = 20 \times 20 \div 2 = 200$   
 よって円の面積は、  
 $\square \times \square \times 3.14 = 200 \times 3.14$   
 $= \underline{628(\text{cm}^2)}$

ここが200

5

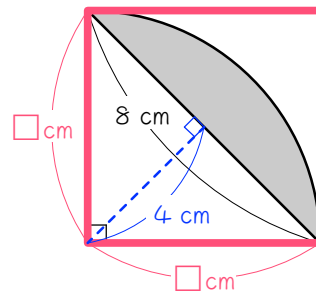


おうぎ形の半径を□cmとすると、  
 $\square \times \square = 4 \times 4 \div 2 = 8$   
 よっておうぎ形の面積は、

$\square \times \square \times 3.14 \times \frac{1}{4} = 8 \times 3.14 \times \frac{1}{4}$   
 $= 2 \times 3.14$   
 $= \underline{6.28(\text{cm}^2)}$

ここが8

6



おうぎ形の半径を□cmとすると、  
 $\square \times \square = 8 \times 8 \div 2 = 32$   
 おうぎ形の面積は、

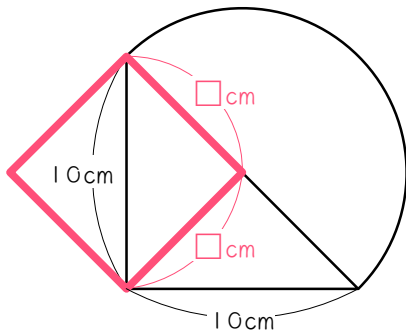
$\square \times \square \times 3.14 \times \frac{1}{4} = 32 \times 3.14 \times \frac{1}{4}$   
 $= 8 \times 3.14$   
 $= \underline{25.12(\text{cm}^2)}$

ここが32

白い直角二等辺三角形の面積は、  
 $8 \times 4 \div 2 = 16(\text{cm}^2)$   
 色のついた部分の面積は、  
 $25.12 - 16 = \underline{9.12(\text{cm}^2)}$



7



半円の半径を  $\square$  cm とすると、

$$\square \times \square = 10 \times 10 \div 2 = 50$$

半円の面積は、

$$\underline{\square \times \square} \times 3.14 \times \frac{1}{2} = 50 \times 3.14 \times \frac{1}{2}$$

(ここが 50)

$$= 25 \times 3.14$$

$$= 78.5(\text{cm}^2)$$

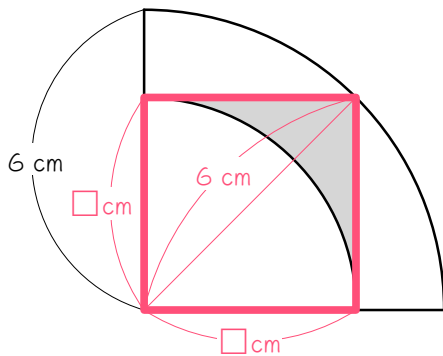
直角二等辺三角形の面積は、

$$10 \times 10 \div 2 = 50(\text{cm}^2)$$

よって図形全体の面積は、

$$78.5 + 50 = \underline{128.5(\text{cm}^2)}$$

8



小さいおうぎ形の半径を  $\square$  cm とすると、

$$\square \times \square = 6 \times 6 \div 2 = 18$$

小さいおうぎ形の面積は、

$$\underline{\square \times \square} \times 3.14 \times \frac{1}{4} = 18 \times 3.14 \times \frac{1}{4}$$

(ここが 18)

$$= 4.5 \times 3.14$$

$$= 14.13(\text{cm}^2)$$

正方形の面積は、

$$6 \times 6 \div 2 = 18(\text{cm}^2)$$

色のついた部分の面積は、

$$18 - 14.13 = \underline{3.87(\text{cm}^2)}$$

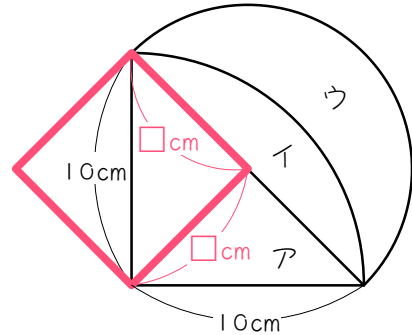
9

(1)  $10 \times 10 \div 2 = \underline{50(\text{cm}^2)}$

(2)  $10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{1}{4} = 78.5(\text{cm}^2)$

$$78.5 - 50 = \underline{28.5(\text{cm}^2)}$$

(3)



半円の半径を  $\square$  cm とすると、

$$\square \times \square = 10 \times 10 \div 2 = 50$$

半円の面積は、

$$\underline{\square \times \square} \times 3.14 \times \frac{1}{2} = 50 \times 3.14 \times \frac{1}{2}$$

(ここが 50)

$$= 25 \times 3.14$$

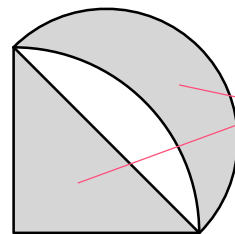
$$= 78.5(\text{cm}^2)$$

よってウの面積は、

$$78.5 - 28.5 = \underline{50(\text{cm}^2)}$$

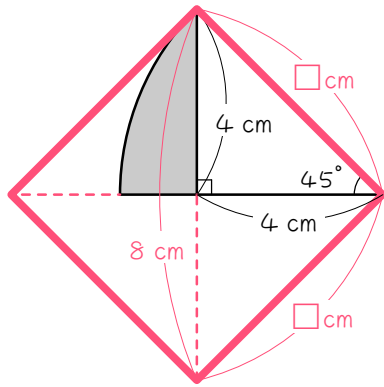
☆この図形はヒポクラテスの三日月という有名な図形で、アの面積とウの面積が等しくなります。

【ヒポクラテスの三日月】



面積が  
等しい

10



おうぎ形の半径を□cmとすると、

$$\square \times \square = 8 \times 8 \div 2 = 32$$

おうぎ形の面積は、

$$\square \times \square \times 3.14 \times \frac{1}{8} = 32 \times 3.14 \times \frac{1}{8}$$

$$= 4 \times 3.14$$

$$= 12.56(\text{cm}^2)$$

白い直角二等辺三角形の面積は、

$$4 \times 4 \div 2 = 8(\text{cm}^2)$$

色のついた部分の面積は、

$$12.56 - 8 = \underline{4.56(\text{cm}^2)}$$